

JIS

鋼板製デリックブーム

JIS F 2201 :1998

(2003 確認)

平成10年4月20日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、運輸大臣が改正した日本工業規格である。これによって、JIS F 2201 : 1990は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、国際規格との整合作業によって、旧JISに含まれていた頭部金物及び基部金物を切り離し、独立規格とした。また、規格内容を一部改正した。

主 務 大 臣：運輸大臣 制定：昭和 32.12.13 改正：平成 10.4.20

官 報 公 示：平成 10.5.6

原案作成協力者：財団法人 日本船舶標準協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 船舶部会（部会長 齋藤 隆一郎）

この規格についての意見又は質問は、運輸省海上技術安全局技術課（☎100-0013 東京都千代田区霞が関 2 丁目 1-3）又は工業技術院標準部材料機械規格課（☎100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

鋼板製デリックブーム F 2201 : 1998

Derrick booms

序文 この規格は、従来のJIS F 2201(船用鋼板製デリックブーム)の一部を構成していた頭部金物及び基部金物については、対応する国際規格との整合化を図るために、それぞれ独立した規格として制定され、対応する国際規格のない部分についてだけを日本工業規格としたものである。

1. **適用範囲** この規格は、船に用いる鋼板製デリックブーム(以下、デリックブームという。)について規定する。
2. **引用規格** ここに掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS F 2210 デリックブーム基部金物—主要寸法

JIS F 2211 デリックブーム頭部金物—固定形

JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材
3. **構成** デリックブームは、本体、頭部金物及び基部金物によって構成される。頭部金物及び基部金物については、それぞれJIS F 2210及びJIS F 2211による。
4. **組合せ** 使用荷重によって、デリックブーム本体と金物との組合せは表1による。